

株式会社クリーンサービス近畿

2022 年度 環境経営レポート

(対象期間 2022 年8月1日～ 2023 年7月31日)



作成日： 2022年10月27日
更新日： 2023年10月16日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

弊社は平成10年に創業し『人と自然と未来を大切にする』を基本理念として、これまで長年にわたり特別管理産業廃棄物等の収集運搬業を営んでまいりました。

私たちは環境に優しい事業活動をめざし、地球温暖化への影響を可能な限り少なくし、地域の環境保全と環境型社会構築へ貢献すると共に事業者としての社会的責任を果たすべく、“環境省環境経営システムエコアクション21”を構築運用しています。これからも環境経営を推進することにより、クライアントの皆様方の産業廃棄物処理の適正かつグリーン配送に貢献してまいります。

環境経営方針

<環境経営理念>

紀伊山地の豊かな自然に恵まれた地域に事務所を構える、私たち株式会社クリーンサービス近畿は、主要事業である（特別管理）産業廃棄物収集・運搬業が、地域社会の環境問題に密接に関わっていることを深く認識しつつ、『人と自然と未来を大切にする』という基本理念の実現に向けて、職員一同は環境経営の継続的改善に最善を尽くします。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 収集・運搬業務の効率化やエコドライブによって、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事業活動によって生じる廃棄物を削減し、分別・リサイクルを推進します。
4. 事務所または作業場における節電・節水に努めます。
5. 事務用品等のグリーン購入に努めます。
6. 業務における苦情・事故を防止し、廃棄物処理を委ねてくださる排出事業者様に一層の安心と満足を提供できる、より質の高い収集・運搬業務を目指します。
7. 事務所周辺及び地域の清掃活動にも積極的に取り組みます。

制定日：2017年7月20日

改定日：2020年8月1日

代表取締役 仲谷 佳晃

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社クリーンサービス近畿
代表取締役 仲谷 佳晃
- (2) 所在地
本 社 和歌山県紀の川市杉原35-1
倉庫 同上
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 仲谷 幸洋 TEL：0736-73-3607
担当者 仲谷 孝子 FAX：0736-60-8250
- (4) 事業内容
特別管理産業廃棄物および産業廃棄物の収集運搬（積替え保管有）
- (5) 事業の規模
法人設立 1998年8月21日
資本金 1000 万円
売上高 12790 万円

本社	
従業員	8 名
延べ床面積	50 m ²

受託した産業廃棄物

収集運搬量	986 t
うち特別管理産業廃棄物	962 t
うち産業廃棄物	24 t

車種	台数	備 考
1.5 tトラック	1 台	保冷車、TRG
2 tトラック	3 台	保冷車、2RG
3 tトラック	2 台	保冷車、SKG、TRG
軽トラック	1 台	保冷車、EBD
合計	7 台	

積替え保管施設

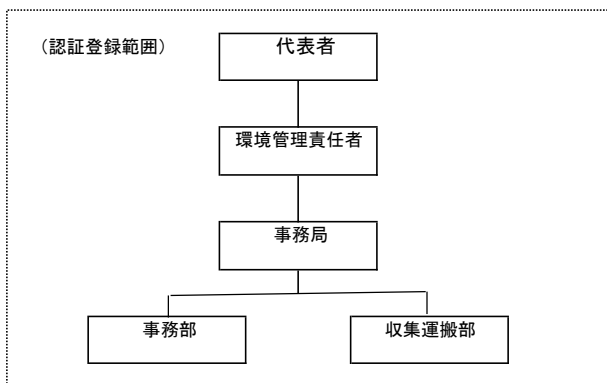
名称	保管面積	保管上限	備考
事業場(産廃、特管とも面積上限いずれも)	9.93 m ²	15.72 m ²	積上高さ、室内保管又は容器保管のため適用無し

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社クリーンサービス近畿
対象事業所：本社・事務所
活動：特別管理産業廃棄物および産業廃棄物の収集運搬

□事業の紹介

病院や施設から出る産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬。弊社敷地内に保管庫を設置し積替え保管の許可を取り廃棄物の一時保管が可能。
近畿一円の許可を取り県をまたいで、幅広く活動中。

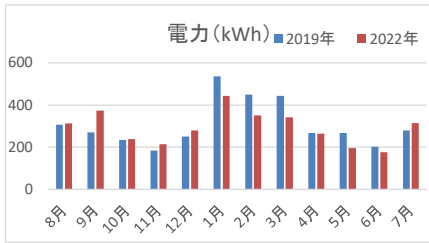


役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

口環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組

数値目標:○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今年度最後の7月が大幅に超えてしまったが、今年の夏の気温は上昇する一方で、熱中症警戒が続く中、従業員の安全を最優先にエアコンは連続運転させている。だが、最終評価は達成で終わった。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	

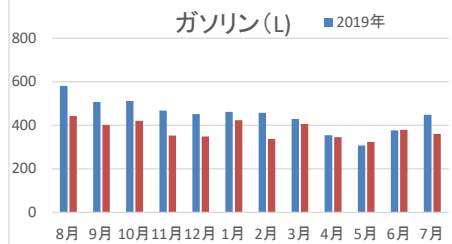


取組紹介欄

事務所の蛍光灯を全てLEDに交換
古い効率の悪いコピー機を新しいコピー機に交換

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2019年	307	270	233	183	250	536	450	443	268	268	202	280
2022年	313	373	237	214	279	443	351	342	264	195	177	314

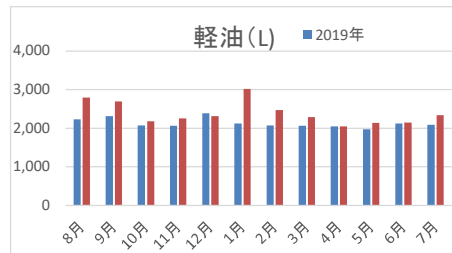
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今年度は収束すると思っていたコロナウイルスだが、残念ながら一部では爆発してしまい、収束には至らなかった。その結果重複しての回収や別便が増加してしまいこのような結果になったと言える。今後コロナ収束に向かい、価格競争も熾烈化し、解約する排出事業者も出てきて、より一層のルートの見直しが必要になる。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	○	



取組紹介欄

積替え保管の許可を取り、効率の良い車輛での処分場搬入に切り替えた。

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2019年	581	507	511	468	452	461	457	430	355	307	376	448
2022年	443	401	420	353	349	424	336	406	346	323	379	360

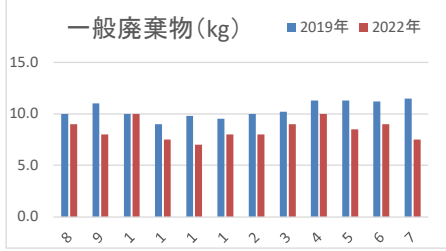


取組紹介欄

古いトラックを新しいアイドリングストップ車に入れ替え

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2019年	2,229	2,312	2,069	2,066	2,386	2,123	2,074	2,059	2,045	1,967	2,124	2,090
2022年	2,791	2,699	2,177	2,257	2,306	3,011	2,474	2,286	2,051	2,137	2,145	2,334

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今年度は目標を達成できているが、引き続き一般廃棄物を削減する努力を惜しまない。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	
・書類等の電子化	○	



取組紹介欄

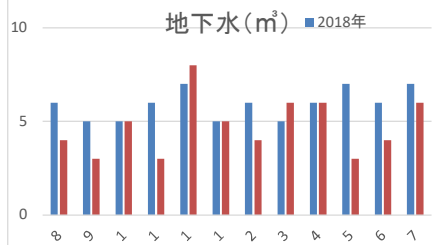
再利用できるものはごみとせず、利用する

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2019年	10.0	11.0	10.0	9.0	9.8	9.5	10.0	10.2	11.3	11.3	11.2	11.5
2022年	9.0	8.0	10.0	7.5	7.0	8.0	8.0	9.0	10.0	8.5	9.0	7.5

受託特管産業廃棄物の増加	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今年度も変わらず、新型コロナウイルスに振り回された1年だった。このまま減少していくと思われた新型コロナウイルスだが、変異株等によりまた少しずつ増加傾向にある。来年度には完全収束して欲しい。
・新規契約を取る	○	

取組紹介欄

地下水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今年度は目標を達成出来ているが、正直地下水の削減は達成出来なくてもしょうがないと思っている。用途はトラックの洗車や、手袋の洗浄等、衛生面重視。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・水を出しっぱなしにしない	○	
・洗車の際段取り良く水を使う	○	



取組紹介欄

高圧洗浄機を使い、短時間で洗車を終わらせる。

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2018年	6	5	5	6	7	5	6	5	6	7	6	7
2022年	4	3	5	3	8	5	4	6	6	3	4	6

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	今年度購入した2tトラック、来年度購入予定の軽トラックで全ての車がエコ使用となる。事務所の備品もほぼ新しく、今後大きく入れ替えは必要ない。
・燃費のよい自動車の採用	○	
・事務用品グリーン購入比率向上	○	
・リサイクル・トナーカートリッジの使用	○	

取組紹介欄

インターネットでエコマークのついている製品を選び、消耗品は履歴から同じものを購入

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・積み込み時に騒音を立てない	○	今年度の夏は特に暑く、熱中症対策には十分気を配った。弊社の従業員だけでなく、荷物を運んでくれる運送会社やメーカーの方々にお茶や塩タブレットを渡し、業務用の扇風機を回して対応した。
・積み忘れをしない	○	
・汚した場合は清掃を行う	○	
・休憩時等停車時はアイドリングストップ	○	

取組紹介欄

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬基準、マニフェストの交付等
道路交通法	法定速度厳守、違法駐停車なし
Nox・PM法	規制地域内での排気ガス規制適合車の使用
自動車リサイクル法	廃車時の適正な手続きと処分

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 車両火災の発生	
■実施日： 2022/11/10	■実施場所 事務所
■参加者： 全従業員	■実施内容：
■評価： 従業員全員手順を見直し、理解してくれた。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 今年度もコロナウイルスに警戒して、手順書を配るのみとした。	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年10月16日

・直近では新型コロナウイルスの5類以降に伴い、徐々にコロナ対応業務は減少傾向になっているが、5類以降前はコロナ対応業務が多く、受託特管産業廃棄物も増加（車両使用頻度増加）により軽油使用量等は増加した。今後は受託特管産業廃棄物は減少していくと見込んでおり、同時に軽油使用量や電力使用量も減少すると見込んでいる。一方で、数年にわたるコロナ対応で、平常時の産業廃棄物（特管含む）の取扱量が判別できない状態になっており、当面は平常時の状態（取扱量）を確認する必要があると考えている。今後もルートの効率化や省エネ車両の導入等を推進し、少しでも環境負荷を低減するよう努力していきたい。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり